

## 技術概要書（様式）

※別紙

技術分類	安全・防災   維持管理   環境   コスト <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">ICT</span> 品質 <span style="color: red;">（該当分類に○を付記）</span>																				
技術名称	Atras Drive Civil-EDITION	担当部署	常務理事																		
NETIS登録番号	申請手続き中	担当者	西 保幸																		
社名等	九州地方計画協会（運用：株式会社ルエブ）	電話番号	092-473-1057																		
技術の概要	<p>1. 技術開発の背景及び契機</p> <p>従来、公共工事における契約の適正な履行として段階確認、材料確認、立会を行う際は、発注者が現場に臨場し、検査・確認を行っていました。受注者側には非効率な手待ち時間・膨大な確認書類、発注者側には非効率な移動時間の問題がありました。そこで、受発注者の作業効率化を図るとともに、契約の適正な履行として施工履歴を管理するために、国土交通省が「建設現場の遠隔臨場に関する試行要領(案)」を発し対策を講じたこと、及び新型コロナウイルス対策による人との接触を回避することが必要となったことにより、従来方式からのプロセスの変更が急務となりました。</p> <p>2. 技術の内容</p> <p>スマートグラスを通じて現場状況をリアルタイムに配信共有できるシステムです。本技術により、今まで現場への臨場が必要となっていた発注者による検査・確認業務等が遠隔地(事務所内)にしながら実施確認可能となります。</p> <p>スマートグラス装着者の目の前の映像を、遠隔地にいる確認者と共有することが可能となり、確認者は現場の状況を、映像と音声を通じて自分自身で視ているかのようにリアルタイムに確認することが出来ます。確認者は、配信された映像、音声を録画でき、情報共有が容易になります。</p> <p>3. 技術の効果</p> <p>現場臨場のための移動時間を大幅に削減できることにより</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・立会のたびに発生する移動時間がなくなるため、発注者・受注者双方の業務効率が大幅に向上</li> <li>・現場に赴く必要がないため、乗用車移動による事故リスクが低減</li> <li>・移動による燃料費やCO2の削減</li> </ul> <p>4. 技術の適用範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネット通信が可能な場合</li> <li>・遠方現場:臨場するための移動に時間を要する場合</li> <li>・施工時において、現場と発注者双方で、早期の判断や確認が必要となった場合</li> <li>・災害等により、緊急を要する現地状況の確認、情報共有が必要な場合</li> </ul> <p>5. 活用実績</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">国の機関</td> <td style="width: 15%;">6 件</td> <td style="width: 15%;">(九州</td> <td style="width: 15%;">6件</td> <td style="width: 15%;">、九州以外</td> <td style="width: 15%;">0件 )</td> </tr> <tr> <td>自治体</td> <td>0 件</td> <td>(九州</td> <td>0件</td> <td>、九州以外</td> <td>0件 )</td> </tr> <tr> <td>民間</td> <td>0 件</td> <td>(九州</td> <td>0件</td> <td>、九州以外</td> <td>0件 )</td> </tr> </table>			国の機関	6 件	(九州	6件	、九州以外	0件 )	自治体	0 件	(九州	0件	、九州以外	0件 )	民間	0 件	(九州	0件	、九州以外	0件 )
国の機関	6 件	(九州	6件	、九州以外	0件 )																
自治体	0 件	(九州	0件	、九州以外	0件 )																
民間	0 件	(九州	0件	、九州以外	0件 )																

# 遠隔臨場システムフロー

受注者：現場

ウェアラブルカメラにて撮影



専用スマートグラス

指定材料の確認 寸法確認(段階確認)



- 映像・音声の「撮影」に関する記録仕様
- 映像 画素数：840×480以上  
フレームレート：15fps以上
  - 音声 マイク：モノラル（1チャンネル）以上  
スピーカー：モノラル（1チャンネル）以上
- 映像・音声の「配信」に関する仕様
- 映像・音声 転送レート（VBR）：平均1Mbps以上

※「建設現場における遠隔臨場の令和2年度の施行方針」準拠

発注者：事務所等

閲覧・録画用レンタルPC, および WIFI



※映像・音声データの保存（現場技術員確認時）

閲覧者環境



確認用 PC および WIFI 環境を貸出  
現場臨場者の映像を机上にて確認

遠隔臨場による段階確認、材料確認・立会

必要に応じて確認または対応を指示

映像データをリアルタイムに配信

遠隔臨場システム Civil-EDITION

Atlas Drive

現場管理者 PC  
管理者環境



映像・音声データの保存

リモート支援者：現場事務所・本社等

Web 会議機能

画面上にて資料を確認しながらの協議が可能

現場情報共有

